

未承認薬等の名称	五苓散坐剤
対象患者	感染性胃腸炎で嘔気・嘔吐のある小児
承認日	2023年12月25日
実施期間	永続的に使用
目的・概要	感染性胃腸炎で複数回の嘔気や嘔吐を繰り返す場合、経口剤よりも肛門から挿入する坐剤の方が確実に投与できると考えられます。また既成の制吐薬のなかには、特に小児において連用すると錐体外路症状という副作用があらわれる薬もあります。そのため、当院ではより副作用が少なく有効性が確認されている漢方薬「五苓散エキス顆粒」を微粉化し、坐剤として製剤化したものを処方しています。
予想される不利益と対策	副作用として皮膚の発疹・発赤およびかゆみが報告されています。これらの症状が認められた場合はすぐに使用を中止のうえ、当院各科外来もしくは救急外来に連絡、もしくは症状に応じて受診して頂きます。
問い合わせ先	熊本赤十字病院 小児科 救急科 電話 096-384-2111 (代表)